

大会名：2017 喜多方サッカーフェスティバル

日 時：平成29年7月29日～30日

会 場：押切川公園スポーツ広場

二日目帯同：熊坂

結 果：準決勝

アーレ 1-5 熊倉

3位決定戦

アーレ 2-0 ヴェルジナーレ

報 告：熊坂

初日は帯同出来ませんでしたので2日目のみの帯同となりましたが報告をさせていただきます。

初日帯同した佐藤コーチから報告を受けていましたが当日の朝に選手達からも前日の良かった点と反省点を報告してもらいミーティングをしてから試合に挑みました。

芝のグラウンドではありましたが雨でぬかるんだグラウンド。曇ってはいましたが湿度の高い中での厳しい戦いとなりました。

選手達には合宿中に行ったシュートを実践でチャレンジして得点を狙いにいく事、そして今まで取り組んできた1対1で負けない、攻守の切替を早くする、運動量で相手に負けない事を伝えました。

システムもこれまでの3-3-1から2-3-2へ変更しました。3-3-1では守備にウェイトをおいてやってきました。これまでの大会で守備力が上がってきたと実感しましたので次のステップとして得点力向上を目指す為にシステムを変更する事にしました。

大量得点を期待していたのですが・・・。

準決勝

アーレ 1-5 熊倉

3位決定戦

アーレ 2-0 ヴェルジナーレ

試合結果の通り、残念ながら得点力向上とはいきませんでした。

しかし3-3-1の時より沢山の決定機を作ってくれました。また攻撃の意識を高めるトレーニングに取り組んできた効果が出てきているとも感じました。その一つがシュート数の増加です。シュートレンジに入ったら迷わず打つという事を伝えてきたので選手達の意識が変わってきた事が嬉しく思います。

「シュートの精度が」と思われるかも知れません。しかし今は試合の中で沢山シュートを打つ事が大事です。シュートを沢山打ち感覚を体に覚えさせる事が出来た時に精度を求めていきたいと思っています。

自分のキック力、得意な角度が分かってくる事でシュートコースやゴールキーパーが見えてくるようになりますので失敗を恐れずに沢山シュートを打って欲しいと思います。

準決勝の敗北で学んだ事もあったと思います。

○攻守の切替が遅く相手に縦にドリブルをさせてしまうとDFが対応出来なくなる。  
2トップからボールヘアプローチして相手の攻撃を遅らせる事が出来ないとDF2枚で守り切る事は難しいですよね。

○ワンプレイで終わる

失点場面、熊倉さんはゴール前に選手が詰めていましたよね。ゴールキーパーが弾いたところを押し込まれてしまった失点が何度もありました。

みんなはシュートを打たれた後にボールウォッチャーになっていませんか？

シュートを打たれても走り続けていたらゴールキーパーが弾いたボールに先に触る事が出来たかもしれません。

攻撃では自分達がシュートを打った後に詰めていたらゴールへ押し込む事が出来たかもしれません。

サッカーは連続性のあるスポーツです。

ボールがラインを割るまで、審判の笛がなるまで次のプレイが続けられるようにしていきます。

他にもありますが以上が対戦相手から学べた事ではないでしょうか。

技術があっても綺麗なサッカーでは勝てません。泥臭く、全力で、そして最後まで諦めない選手、チームになって欲しいと思います。

日々のトレーニングからこの気持ちを持たなければ改善出来ない所以意識改革に取り組んで欲しいと思います。

次の大会では更に成長した姿を見せてくれる事を期待しています。

喜多方サッカー協会様

このような素晴らしい大会に参加させて頂きましてありがとうございました。  
一般、中学生、小学生が一同に介して実施するというのは選手達も勉強になり、刺激を受けとても貴重な経験になりますね。  
また来年も参加させて頂きたいと思います。  
冬のフットサル大会もお誘いお願いします。

大会関係者様

大変お世話になりました。  
各チーム特徴があり勉強させて頂きました。  
ありがとうございました。  
またどこかの会場でお会いした時には宜しくお願いします。

2日間応援、ご協力を頂きましたご父兄の皆様ありがとうございました。  
優勝こそありませんでしたが選手達は全力で頑張ってくれました。精一杯戦った選手達を褒めてあげてください。  
成長した姿を見て頂けるように次の大会も頑張りますので引き続き応援、ご協力をお願いします。

コーチ：熊坂